**Project** 

地域プロジェクト(令和2年度前期~令和2年度後期)



地域協働専攻

地域政策グループ

# HUE レインボーはこだてプロジェクト

【メンバー】 [学 生] 石川 凪紗/岡崎 光咲/工藤 一紗/佐々木 里奈/塩田 きらり

高松 友梨絵/東條 くるみ/宮越 悠

[担当教員] 古地 順一郎

# 【背景】

近年、パートナーシップ制度の導入をはじめとした性的少数者の権利を認めようとする運動が盛んに行われている。それに伴い多様性のある地域づくりについても関心が向けられるようになっている。また、函館市では開港都市として古くから多様な文化を取り入れており、観光都市として多くの来日外国人との国際交流も盛んである。このことから函館市でも多様性のある地域づくりに取り組むことが望まれる。

#### 【目的】

性に関し、多様性のある地域づくりに関心が向けられているという背景をもとに、性的少数者の理解を促進する活動を通し、すべての人が暮らしやすい地域づくりに寄与する。

#### 【概要】

函館市を拠点として活動する市民団体である「レインボーはこだてプロジェクト(RHP)」と協働して、性的少数者に対する市民の理解を促すために、イベント開催による啓発活動、SNSを通じた広報活動、その他イベント活動を行う。

# 【プロセスと成果】

前期は文献講読や映画鑑賞を通して、性的少数者への理解を深める上での基礎となる知識を得ることに重点を置いた。個人でも講演会に参加するなど学びを深め、オンライン会議システムを用いた活動の中でそれぞれの意見や感想を共有した。

こうして学んだ性の多様性に関する基礎知識を踏まえ、後期の活動は11月28・29日に函館蔦屋書店で開催したイベント「虹をはいて歩こう-Show Your Ture Colors」に向けた準備から始まった。夏休みも活動を継続し、地域の人たちに性の多様性について知ってもらうため、まずは自分たちで「多様性とは何か」「自分らしく生きるとは何か」について改めて考え、意見交流を行った。これを踏まえて、イベントで上映する学生制作動画の内容と構成を決め、撮影に取り組んだ。同時に、イベントやRHPの活動を地域の人に知っていただくために広告・宣伝活動にも力を入れた。新聞やラジオ出演だけでなく、イベントの協賛も募り、19団体にご協力いただいた。イベント当日は新型コロナウイルス感染症の影響により昨年より小規模になってしまったが、延約100名の地域の方々に性の多様性について知ってもらう機会を提供することができた。また、学生が制作した動画を上映したことで、今まで性の多様性やLGBTに触れる機会がなかった人に対してもアプローチすることができた。

イベント終了後は2月7日に開催した「レインボーはこだてシアター」に向けての準備を行った。ドキュメンタリー映画『ぼくが性別「ゼロ」に戻るとき』の上映会と、その後のトークセッションを円滑に進めるため、事前に映画資料を読み込み、RHP登壇者と打ち合わせを重ねた。引き続き広告・宣伝活動に力を入れたためか、当日、会場である亀田交流プラザには幅広い性別・年代の方にご来場いただくことができた。オープニング・クロージングでの挨拶やトークセッションの中では、学生も性に関する自分の考えを発信することができた。

以上のように、活動を通して地域の方々に性の多様性について知り、学んでいただく機会を多く作ることができた。そして私たち自身も、活動を通して性の多様性について学びを深める事が出来た。



動画撮影の様子



車内広告



上映会学生挨拶

# 【総括と反省・今後の課題】

前期は対面授業の許可が下りるまでの間、オンライン会議システムを用いた活動が中心だったがその中でもできることを模索し、活動において重要となる性の多様性についての基礎知識を、それぞれが身につける事が出来た。

後期について、イベント当日は新型コロナウイルス感染症の影響に加え、中高生の試験期間と重なっていたこともあり、来場者が昨年より少なくなってしまった。次回は開催時期を見直すほか、直接会場にご来場いただかなくともイベントに参加できるような方法についての検討が必要である。上映会は会場が昨年と異なり大学ではなかったため学生の参加は少なかったが、地域の方々には多く参加していただけた。次回は学生も地域住民も来場しやすい会場にすると、より幅広い人に映画を通して性の多様性に関心をもっていただけると考える。また、挨拶やトークセッションで学生が性に関する自分の意見を発信したことが好評であった。1年間の活動を通して学び、感じたことを、自分の価値観の構成・見直しに十分活かすことができた結果である。以上のイベントや上映会では、広告等や協賛募集活動を通じて地域の方々にも性の多様性について知っていただく機会を増やすことができた。活動の認知をさらに広めるため、今後もこのような広報活動を継続することが必要と考える。また、当日の講演会やトークセッションには、メモを取りながら熱心に当事者の話に耳を傾ける地域の方の姿も多く見受けられた。性の多様性について関心のある人にとって、重要な学び・発見の場を提供できたと考える。一方でどちらも準備を進める中でわからないこと、イメージがしづらいことが多々あった。スムーズに準備をし、当日余裕をもって迎えるために、前年度のイベントや上映会に関する記録の引継ぎを徹底することもまた、今後の課題となる。

全体を通しては非対面で活動することが増え、例年とは異なる状況となってしまったため、思うような活動ができなかった。毎週の定例ミーティングでは例年、RHPの方と集まり一緒に夕食をとりながら話し合いを進めていたが、今年は新型コロナウイルス感染症対策のためできなかった。当事者の方との交流の時間でもあったため、残念であった。また、オンライン会議システムを用いた活動が増えたが、発言のタイミングが図れないなどし、スムーズに話し合いを進めることが難しかった。今後は話し合いの時間管理をしっかり行うなど、オンライン会議システムを工夫して使う必要がある。RHPの方々とはそれぞれの役割を確認し、協働することができた。しかし、お互いの活動状況が把握できないことが多かったため、今後はこまめな経過報告も必要になると考える。

## 【地域からの評価】

RHPの方からは学生が制作した動画により、地域団体としても視野が広がったとの声があった。協賛金を募ったことや広報活動については地域社会とつながったことで地域を動かす事が出来ることを学生自身が実感できたと、私たちと同様の評価をしていただいた。

今後の活動については、将来学生が地域社会の中心的な役割を担うことから、広い視点から柔軟に物事を捉えてほしいとの意見をいただいた。また、地域協働だからできることを自ら積極的に学び、ともに成長し続けたいとの期待のお言葉もいただいた。

最後にこの1年間、活動においてRHPの方をはじめ、多くの地域の方にご協力いただいた。ここで厚く御礼申し上げたい。

前期	5月19日	第1回「オリエンテーション」
	5月26日	第2回「ゲイピロの打ち合わせ」
	6月 2日	第3回「文献講読」
	6月 9日	第4回「ゲイピロ事前実験」
	6月23日	第5回「ゲイピロの打ち合わせ」
	6月30日	第6回「映画鑑賞·意見交流」
	7月 7日	第7回「イベントの打ち合わせ」
	7月14日	第8回「ゲイピロの打ち合わせ ・昨年の「虹をはいて歩こう」講演鑑賞」
	7月19日	「ゲイの人と焼きピロシキを つくって食べる会」参加
	7月21日	第9回「中間報告書について・ゲイピロ反省」

夏季休業	7月28日	第1回「イベントの打ち合わせ」
	8月 4日	第2回「中間報告書について・動画話し合い」
	8月11日	第3回「同性婚訴訟について ・映画鑑賞・イベント打ち合わせ」
	8月18・25日 9月1・6・8日	第4~8回「イベントの打ち合わせ・動画話し合い」
	9月15日	第9回「動画話し合い」
	9月22日	第10回「イベントの打ち合わせ・動画話し合い」
	9月29日	第11回「動画話し合い」
後期	10月2・3日	第1~2回「動画話し合い」
	10月 6・13・20・27日	第3~6回「イベントの打ち合わせ・動画話し合い」
	11月 3日	第7回「イベント打ち合わせ」
	11月10日	第8回「イベントの打ち合わせ・動画話し合い」
	11月17日	第9回「イベントの打ち合わせ」
	11月28・29日	「虹をはいて歩こう -Show Your Ture Colors」開催
	12月 8日	第10回「イベント反省・上映会打ち合わせ」
	12月15日 1月 5・12日	第11~13回「上映会打ち合わせ」
	1月19日	第14回 「上映会打ち合わせ・成果発表会について」
	1月26日	第15回「上映会打ち合わせ」
	2月 2日	第16回「上映会打ち合わせ・映画鑑賞」
	2月 7日	「レインボーはこだてシアター 上映会 &トークセッション」開催
	2月 9日	第17回「上映会反省」